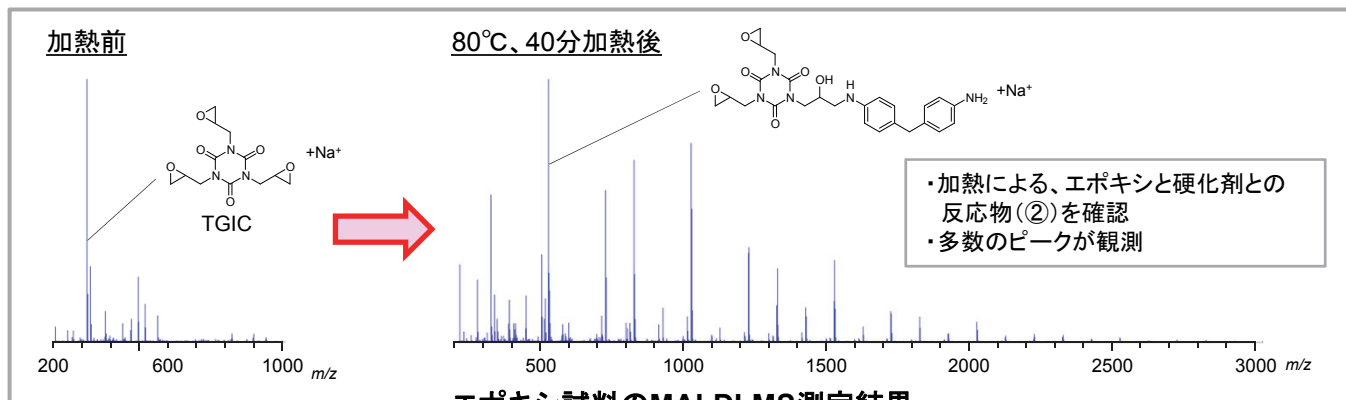
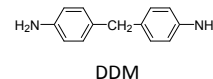
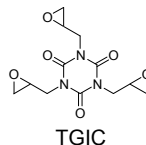


# 高分解能MALDI-MSによる エポキシ硬化反応の追跡

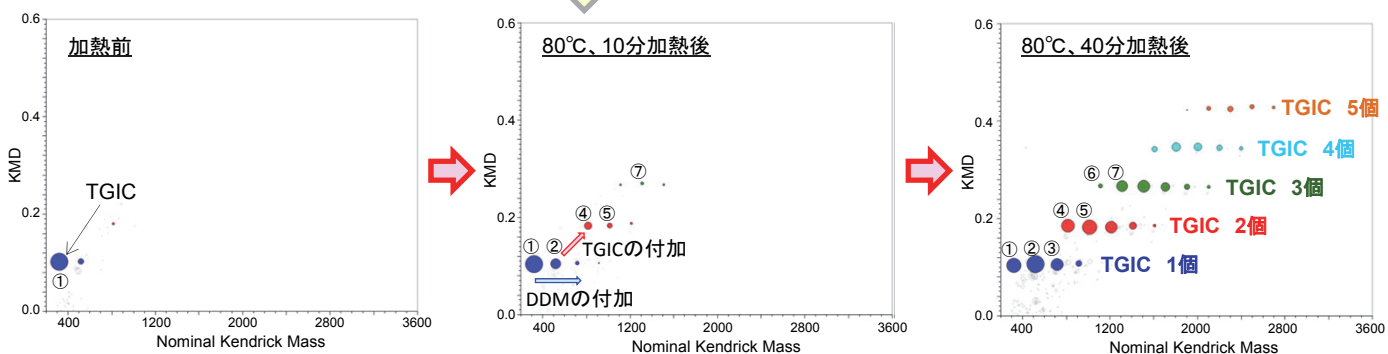
高分解能MALDI-MSによる精密質量測定およびKMD (Kendrick Mass Defect) プロット法を利用してエポキシの硬化反応を追跡した事例を紹介する

**エポキシ試料:** トリグリシジルイソシアヌレート (TGIC)  
+ ジアミノジフェニルメタン (DDM)

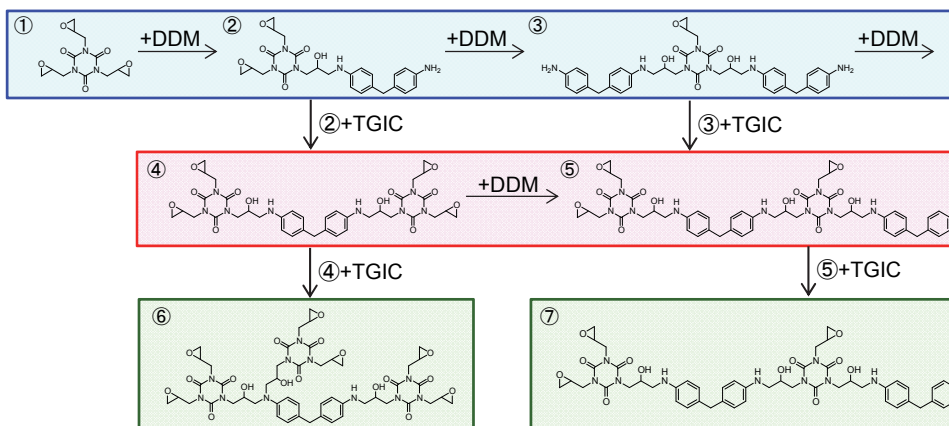
加熱温度: 80°C  
加熱時間: 10, 40分



DDMを基準としたKMDプロットを作成することで  
反応物の分布状況を解析



## エポキシの硬化反応



・分布が広がっていく様子を観測  
・1級アミンが優先して反応

高分解能MALDI-MSおよびKMDプロット法を利用することにより、初期段階のエポキシ硬化反応を追跡することができた